

クエストエデュケーション 全国大会出場

中学校の「学年の時間」で行っている道徳教育・キャリア教育を総合的に行う探究活動としてクエストエデュケーションに取り組んでおります。今年もすべての学年で優秀賞を受賞し、全国大会に出場することができました。例年法政大学や立教大学において大会が行われてきましたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止策としてオンラインでの開催となりました。

中学一年生

ロールモデル(進路探究) 「小倉昌男の歩んだ道」

チーム YgCA5(中1はクラス横断のチームとなります)



リーダーの感想

私たちのグループは、漫才や劇などと違って言葉で伝えるパワーポイント形式だったので、聞いている方たちに言葉で届けるために、パフォーマンス面はとても試行錯誤しました。最初は恥ずかしくて、あまりうまくできなかつたり棒読みとかになってしまったけど、歴代チームの映像を見たり、先生のアドバイスで、恥を捨て、本当に伝えたいことを素直に伝えられたのではないかなと思いました。本番でも今までで一番上手にできたなと感じています。審査員の方々にも「事実が鮮明に伝わった。本当に伝えたいことが言葉を通して、伝わった。」と言っていただきました。惜しくも準グランプリ、グランプリには届きませんでした。

だが、これからの人生において「伝える」という行為がどのようなものなのか、「届く」ということはどういうことなのか、そんなことを学んで、感じられたいい体験になりました。まだまだこれからプレゼンテーションという機会はたくさんあるので、私たちの「声」でたくさんの方々に「伝える」ことができたかなと思います。

中学2年生

マイストーリー 「弱い自分のままでいい」



出場した感想

今回、学年の時間でマイストーリーを書く機会を与えて頂き、私は「自分の生き方の指針」を見つけることができました。

マイストーリーを書く前の私は、周りの目ばかりを気にしていて、頂いたアドバイスの全てを、自分で判断することなく、そのまま吸収しようとしているうちに、自分が本当になりたい姿が何なのかを見失っていました。

しかし、マイストーリーを書くにあたって自分の軌跡をたどってゆくうちに、ありのままの私を大切に思ってくれた人たちの存在を思い出しました。それを機に、自分の生き方に対する意思が、少しずつ明確になっていったように感じます。

もしこの文章を読んでくださっている方々の中に、人生に不安や迷いを感じている人がいたら、ぜひ、あなたが辿ってきた人生ドラマ、あなたの「マイストーリー」を思い返してみてください。あなたの進むべき道が見えてくるはずです。

中学3年生

コーポレートアクセス(企業探究)

チーム「モロヘイヤ」(取り組んだ企業：メニコン)

「過去と未来をつなぐVR」



リーダー 感想

全国大会出場が発表された時は、まさか自分たちが選ばれるとは思っておらず、とても驚きました。というのも、私たちの班は、「終始煮詰まっていた」と担任の先生がおっしゃるほど話し合いがはかどらなかったからです。あまりにも意見が出なかったため、中間発表の案をすべて白紙に戻して、最終発表の案を一から作り直したほどでした。

出場決定の連絡を受けてから本番まで二週間もなく、その期間はチーム全員必死で案を練り直しました。おかげで、最終的にはチームみんなが達成感を得られる発表になりました。

企業賞は取れませんでした。企業の方に直接発表を聞いていただくという、とても良い経験ができました。今回の貴重な経験を、これからは活かしていきたいです。